

大きく変わるとき

【育友会便り】

校長 土居正明

今年の夏から秋は、台風や大雨に見舞われ、古都である奈良県内でも被災された方が多くおられます。近頃の気候には異常な変化を感じますが、そんな悠長なことを言っておれません。衷心よりお見舞い申し上げます。

「Boys, be ambitious like this old man.」

この言葉は「少年よ大志を抱け」と訳されて有名です。ご存じクラーク博士が札幌農学校（現北海道大学）を去るときに、教え子たちに残した言葉です。時は明治初期、西南戦争の前夜です。日本という国が近代化という大きな変革を進める中で、次代を担うであろう若者に、クラーク博士はこの言葉を残しました。

この言葉の後半部はあまり知られておらず、意識すると、当初の訳以上にいろいろな思いが込められているように思えてきます。「この年寄りのように」「私のように」でしょうか。何という清々しい自信と優しい眼差しでしょうか。

これからの社会で必要とされる、身につけるべき能力はこれだ、と高等学校の指導要領は改訂され、来年度新入生から順次導入となります。大学入試も含め、大きな方針転換も含まれております。社会の急速な変革が進み、AI技術の登場やインターネット環境など、現代の産業革命と呼ぶ人もいます。変えるべきものと、変わらないものの狭間で、教師は悩みながら歩むことになると思います。大人としては若者に、変革の時代のクラーク博士のような言葉をいつか贈りたいと願っております。